



日本勤労者山岳連盟 Japan Workers' Alpine Federation 〒162-0814 東京都新宿区新小川町5番24号 TEL 03(3260)6331(代) FAX 03(3235)4324(代) URL http://www.jwaf.jp

お問い合わせ・情報は フリーダイヤル 0120-44-2742 (平日10時~18時) E-mail: jwaf@jwaf.jp

# 登山文化を継承できる

## 力強い登山をつくりたい！

### 全国評議会が開かれる

日本勤労者山岳連盟の全国評議会が、2月18、19日に東京の晴海グランドホテルで開催されました。この評議会には49地方連盟中33地方連盟から41人の評議員(定数56人)と全国連盟役員等で総計80名が出席しました。両日の討議を経て執行部提案は1号から4号議案すべて可決されました。



報告をする川嶋事務局長

川嶋事務局長は報告の中で、2016年度の活動状況を報告し、2017年度の活動方針について述べた。また、2016年度の活動実績として、4道県が現状維持、33都府県で557人の会員が減少したと報告した。原因は様々だが、多くは会員の高齢化によるものと推察される。

評議会では、京都府連盟や北海道中央地区連盟など会員を増やしている経験、努力して会員を現状維持している経験が報告されました。

### ROUSAN パートナース問題で論議

評議会では第2号議案「ROUSAN パートナース制度の閉鎖」について、さまざまな意見が出た。一方、提案は了承するものの、なぜ閉鎖するのか説明が十分だという指摘、他方ではパートナース制度は労働者を維持発展させ



討論を聞く評議員

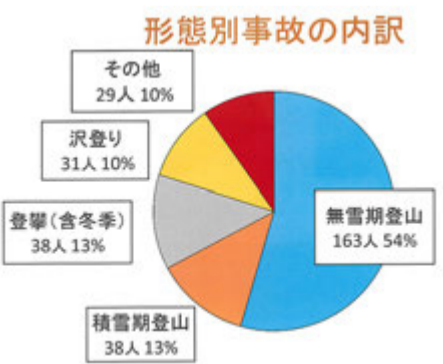
る取組として導入されたのに、ただ単に閉鎖することには反対であるとの意見がありました。全国連盟からは、現在のパートナース会員の今後の処遇や、来年の総会ではより詳しく総括することが表明されました。

### 新たな組織形態めざした ROUSAN パートナース 力不足で閉鎖を決定

「ROUSAN パートナース」制度は、会に所属しない個人が誰でも入れる個人会員制度として、2012年9月にスタートしました。その目的は、山岳会に入っていない登山者をよりゆるやかな形態で組織し、登山運動に新たな展望を切り開くことでした。いま、山の世界では若い登山者が急増しているのに、なかなか既存の山

ブロック(北海道、四国、九州)からの広域理事3名が承認されました。●地方ブロック枠で選出された広域理事(うち斜体が新規) ・北海道 久保静児(札幌登攀倶楽部) ・奥羽 渡邊健治(盛岡山友会) ・東北 赤間弘記(宮城/朋友会) ・北信越 浅瀬和人(石川/めっこ山岳会) ・東海 竹本幸造(静岡安倍つ子山の会) ・近畿 加納公子(兵庫/やまぼうし) ・中国 川辺淳二(山口/サークルコンパス) ・四国 阿部哲也(香川/さぬき山歩会) ・九州 今村正一(鹿児島勤労者山岳会)

## 2016年 登山会員の山での事故



2016年(1月~12月)に発生した登山会員の山での事故を、事故一報データから全国連盟が集計しました。年間事故数は29名とこの10年ほど、30名を前後する状況が続いています。このうち死亡・行方不明は8名で5年ぶりに一ケタにおさまりました。発生時間帯では、午前11時台と、午後2時台にピークがあります。この間に谷があるのは毎年おなじように見られる傾向ですが、昼食タイムで休憩していることが多いとめと考えられます。夜間である夜6時以降にも16名(52%)と、女性が多くなっています。登山形態別では、無雪期の転倒によるものが一番多くなっています。男女別では、男性14名(48%)、女性15名(52%)と、女性がやや多くなっています。



渡辺さん 小池さん 桑村さん 大東さん

お疲れさま 桑村昌子さん 大東伸枝さん よろしくお願ひします 渡辺明(あき)さん 小池藍(あい)さん 全国評議会であいさつする4人

これまで長年にわたり登山の専従事務職員を勤めてこられた桑村昌子さん、大東伸枝さんが2月20日をもって定年退職されました。桑村さんは1996年から勤続20年8ヶ月。遭難対策基金の仕事を手始めに、その後登山時報の編集を担当しました。大東さんは、1999年から勤続17年9ヶ月、会計処理を一手に引き受けてきました。二人に代わって、渡辺明さんと小池藍さんが勤務しています。全国の皆さん、これから、新しい二人をよろしくお願ひいたします。

# 次世代に登山をどう継承するか 16年ぶりの「全登研集会」

## みんなで語られたものは?

16年ぶりで開催した第16回全国登山研究集会(主催: 労山全国連盟 略称: 全登研)が、昨年(2016年)11月5日(土)〜6日(日)に東京・渋谷区代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催されました。参加したのは

地方連盟、各会からの参加者と全国役員・専門委員で5日1134名、6日1128名、2日間に参加した人は全部で149名でした。初日は全体会、会場は椅子が足りず、立ち見がでるほどの盛況ぶりでした。

今回、16年ぶりに全登研を開催したのは、登山を次世代に継承発展させるために今どうすべきか、労山の歴史と経験をふまえ、地方連盟や各会の活動に学び、討論を深めるためです。

冒頭、西本会長は、「労山を語る人が少なくなっている。先人の意志を今の人に継いでいってほしい」と訴えました。

浦添理事長は基調講演のなかで、登山要求のなかで結成されたのか、趣意書の決定に至った経緯、そして趣意書各項目の重要な意義などについて語りました。

### 労山の歴史と経験ふまえ

#### 私たちは今どうすべきか

会場で、参加者の声をひらいてみました。

「3年前に入会。労山が放射線量測定をしていたと



浦添理事長の講演を聞く「全登研集会」の参加者

「入会して20年。労山のことが今までよくわからなかった。初めていろいろ知ることができて良かった」

「16年ぶりに全登研を開催したのは、登山を次世代に継承発展させるために今どうすべきか、労山の歴史と経験をふまえ、地方連盟や各会の活動に学び、討論を深めるためです。」

冒頭、西本会長は、「労山を語る人が少なくなっている。先人の意志を今の人に継いでいってほしい」と訴えました。

## 福島県連からお誘い 9月には交流登山 しませんか

東日本大震災と原発事故の防止になると考えま故からまもなく6年が経過しています。私たちが福島県連盟には、多山仲間をぜひ県内の美しいくのご支援や励ましの言葉を戴いて本当にありがとうございます。そして多な農産物も一緒にお楽しみください。

よやく福島県には内外からの観光客も増え始めています。そして多な農産物も一緒にお楽しみください。

交流会は9月16日(土)に開催予定です。宿泊・交流費は別途です。

連絡先 buchii@ato.ocn.ne.jp 岩瀬事務局 長まで

## 12会からレポート発表 会員をこうやって増やした

集会では、地方連盟や各会から、テーマにそった活動レポートをお願いし、初日の全体会で12件が発表されました。そのうち、

- 千葉県・船橋勤労者山岳会 / 橋本光陽さん
- 若手会員は不規則で長時間労働の環境で山行活動も
- 岡山県・倉敷ハイキング倶楽部 / 能瀬雅国さん
- 「ハイキングスクール」を通じて2007年からの10年間で会員を200名に倍増させ、リーダー養成の中級講座



「若い世代の登山者交流」をテーマにした第4分科会

制限されるが、縦走、冬山沢登り、岩登りと幅広い山行技術をキツチリ教えていくことが鍵である。

●千葉県・松戸山の会 / 渡辺敦子さん

2013年から毎年15名前後の新入会員を迎えて、会員が80名から120名に増えた。新入会員は毎月一回の例会時の「新人ミーティング」で「会の組織」「山の基礎知識」を系統立てて教えている。

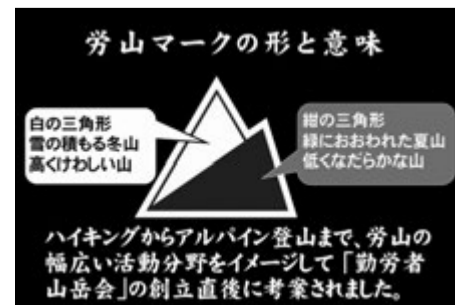
●兵庫県・高御位(たかみくら)山遊会 / 砂川延也さん

2000年に14人で会を発足させ、毎年会員を増やし2016年は11人となった。その拡大の原動力は、播磨地域に労山を広げるための教室開催である。

●岡山県・倉敷ハイキング倶楽部 / 能瀬雅国さん

「ハイキングスクール」を通じて2007年からの10年間で会員を200名に倍増させ、リーダー養成の中級講座

## 「目で見る労山の歴史」が DVDになりました 希望する会に無料で進呈



「全登研集会」で見てもうために作成した「目で見る労山の歴史」がDVDに

「全登研集会」で見てもうために作成した「目で見る労山の歴史」がDVDに

座として「セカンド・ステップ」講座に20名前後の会員が参加している。

集会2日目は、こうした

なりました。上映時間20分で、創立から今日にいたる労山の歴史を、次々と切り替わる画面で簡単に学ぶことができます。希望する地方連盟、会・クラブには、無料で進呈いたします。大いに活用してください。希望される方は、全国連盟事務局までお知らせください。

## 全国の皆さんへ

暖かい声援と多大な義援金を戴きました。誠に有難うございました。浦添理事長には直接来ていただき震災の状況を見ていただきまし

※ ※ ※

地震では熊本県内の会員のうち西原村・益城町・八ア活動の残金を戴きました。

※ ※ ※

年末には追加の義援金と福岡の炊き出しボランティアに地震の夢を見て熟睡できない方もあります。本当にありがとうございました。

※ ※ ※

熊本の被災状況を調査し、その報告により取り急ぎ29

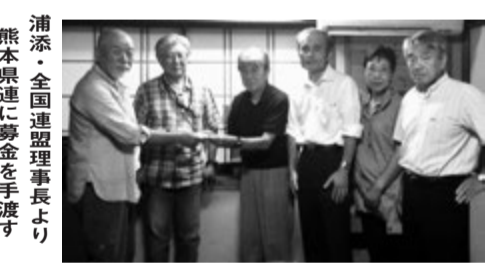
## 熊本県へのあたたかいご支援 ありがとうございました

代地方において家屋の半壊、家財の損傷、瓦の落下、自動車の破損、門扉と塀の倒壊等多くの被害がまし

※ ※ ※

熊本県へのあたたかいご支援ありがとうございました。

熊本県勤労者山岳連盟 会長 井上邁雄 理事長 樺島祥平



浦添・全国連盟理事長より熊本県連に募金を手渡す

# 登山のルールをたどる 女性が当たり前に登山できる環境づくり

## 女性委員会スタート シリーズ第6回

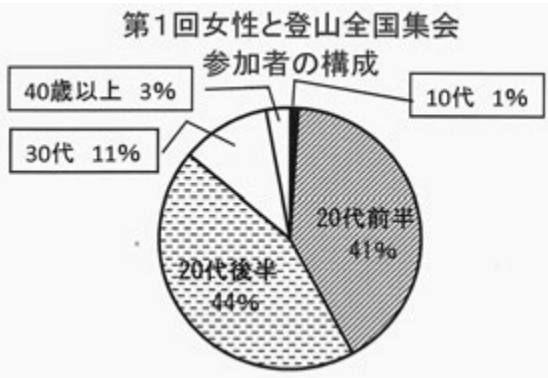
「山に行くなら嫁に行け」  
— 1976年6月に兵庫県・西宮市で開催された「第1回女性と登山に関する全国討論集会」報告集に収録されています。

当時の社会はまた、「女性が行く大きな荷物を持って山に行くのではなく、女らしいお稽古を」という風潮でした。会のなかでせつかく登山技術を共に学んだ女性会員が、結婚や適齢期でだんだん少なくなり、新しい会員を再度教育しなおしていく繰り返してました。

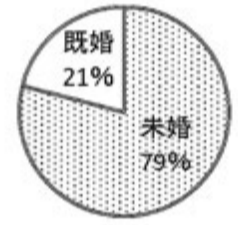
また、こんな話もありました。福岡のある会で、テント山行を実施した際に、夜10時ころまでテントが建ちませんでした。主だった男性会員が仕事の都合で参加が遅れ、女性はたく



登山分野で、女性の集会は画期的だった (全体会場のよう)



### 既婚・未婚別



40歳以上の参加者はたった11人だけだった



ごったがえす受付の様子

2017女性と登山全国集会是、12月2日～3日に埼玉県・国立女性教育会館で開催します

さんいたのにテントの建て方を知っている人がいなかったのです。  
こうした女性のかかえる悩みは、1976年10月代後半から始まりました。

### 1976年第1回女性集会を機に大きく広がった取組

まず、九州ブロックで級登山学校・長野県女性登山研究集会・兵庫県女性登山の集いと続き、各地の地

「女性のた」が1968年に開かれました。1972年に兵庫県・西宮市で開かれた第3回全国

様々な問題を話し合い、解決の道を探ろうとの取組みが、1960年代後半から始まりました。

女性の全国的な集まりは、母親大会とか、教師のあつまりとか少なくありませんが、スポーツの分野や登山の世界では前例のないことであり、画期的なこと

この集会是第3回から名称を女性と登山全国集会に変更され、1986年の第6回(愛知県瀬戸市)まで開かれ、延べ参加者数は2300名に達しました。

第1回女性と登山全国集会以「チューターをつとめた加納公子さん(現・全国連盟理事)」に、当時の思い出を書いていただきました。

兵庫で「第1回女性と登山全国集会」が取り組まれることになって2か月の間、毎夜の13人の実行委員会は、メンバーの家に集まり、基調報告やテーマの内容、今持っている女性会員の悩みを終電を気にしながら話しあって当日を迎えました。

集会では、いつまでも(結婚しても)山に登り続けたい、自立した登山者になるには... 私たちの持っている悩みは共通の悩みであることを認識でき仲間がいることの心強さを感じる

登山研究集会では、9分科会の一つとして、初めて「女性と登山」がテーマになり、30名が参加しました。「全登研」女性分科会の参加者は57名(73年)、70名(75年)と回を追うごとに増加し、話し合われる内容も多岐にわたりました。

この集会是第3回から名称を女性と登山全国集会に変更され、1986年の第6回(愛知県瀬戸市)まで開かれ、延べ参加者数は2300名に達しました。

このスタイルが現在まで継承され、東西に分かれて2年に1回、開催されています。

集会になったと思っ集会では、ニュー入行や、接待など男性会員の協力もあり、参加者は4分の1が男性でした。

追加) 【秋田駒・八幡平・森吉山】 土合ハウス 【上信越国境・西上州】 霧積温泉・きりつみ館、国民宿舎・裏妙義

【妙高・戸隠】 休暇村・ホテルいづつ 妙高笹ヶ峰キャンプ場

【美ヶ原・高ボッチ】 栄の湯旅館↓千聚 地木屋↓錦の湯・地木屋

参加者の構成をみると、30歳未満が86%を占め、いと隔世の感がありま

委員長に高橋孝子さん(東京・目黒勤労者山岳会)現・めぐろ山学クラブ仲間)が84年まで在任しています。

1988年からは、女性委員会がなかつた地方連盟にも女性委員会を作ろうと、それまでの都市部での集会ではなく、地方に出向

【ろくさんニュース】前回(2016・11・10付 第33号)に掲載した登山優待施設のうち、若干の変更

【白馬・後立山連峰】 島温泉・島の湯旅館 【御嶽山】 中の湯本館、中の湯

【白山】 鶯谷 卓三(注: 鶯谷幸二は優待継続中) 【祖母・傾・大崩】 民俗あけほの荘

分設会討論



### 登山優待施設追加および変更

- 【白馬・後立山連峰】 島温泉・島の湯旅館
- 【御嶽山】 中の湯本館、中の湯
- 【白山】 鶯谷 卓三(注: 鶯谷幸二は優待継続中)
- 【祖母・傾・大崩】 民俗あけほの荘
- 【尾瀬・南会津】 富士見小屋
- 【谷川連峰・巻機・武尊山】 土合ハウス
- 【川口温泉・奥羽山荘】 霧積温泉・きりつみ館、国民宿舎・裏妙義
- 【妙高・戸隠】 休暇村・ホテルいづつ
- 【妙高笹ヶ峰】 キャンプ場
- 【美ヶ原・高ボッチ】 栄の湯旅館↓千聚
- 【美ヶ原・高ボッチ】 地木屋↓錦の湯・地木屋
- 【舟形山周辺・蔵王】 三五郎小屋↓Forest Inn・SANGOR
- 【吾妻・安達太良・磐梯山】 塩澤温泉・湯川荘
- 【廃棄または優待施設返上】 (名称変更)
- 【舟形山周辺・蔵王】 三五郎小屋↓Forest Inn・SANGOR
- 【吾妻・安達太良・磐梯山】 塩澤温泉・湯川荘
- 【尾瀬・南会津】 富士見小屋
- 【谷川連峰・巻機・武尊山】 土合ハウス
- 【川口温泉・奥羽山荘】 霧積温泉・きりつみ館、国民宿舎・裏妙義
- 【妙高・戸隠】 休暇村・ホテルいづつ
- 【妙高笹ヶ峰】 キャンプ場
- 【美ヶ原・高ボッチ】 栄の湯旅館↓千聚
- 【美ヶ原・高ボッチ】 地木屋↓錦の湯・地木屋

### 山岳遭難対策に積極的役割を 登山と新日本スポーツ連盟が スポーツ庁と意見交換

日本勤労者山岳連盟(スポーツ庁(鈴木大地長官)は2月6日午を新日本スポーツ連盟と前、文部科学省内にあるス

して意見交換しました。スポーツ庁は、スポーツ者からそれぞれ回答が述べられました。

た。この中には、登山からの山岳環境整備や山岳遭難救助体制整備に関する質問事項と要望も含まれます。



スポーツ庁に要望書を手渡す浦添理事長(左)

これには登山から浦添理事長、石川副理事長、川嶋事務局長が、また新日本スポーツ連盟からは和食会長、石川理事長など、全体では合計8名が参加しました。冒頭、国のスポーツ予算や公共スポーツ振興に関する要望書を手渡しまし

た。この中には、登山からの山岳環境整備や山岳遭難救助体制整備に関する質問事項と要望も含まれます。これに対して、十数人が居並んだスポーツ庁の各担当

# 歌い継ぐ二つの名曲 登山祭典で全国に広まった

## 「山は心のふるさと」



赤星宅にて(2016年) 猪谷さん(左)と愛用のハーモニカを手にした赤星さん(右)

富山県の登山会が作詞・作曲し、いまだに歌い継がれている二つの名曲があります。

「山は心のふるさと」(赤星正明)あかほし・まさあき)と、「山と仲間」(猪谷守)いのたに・まもる)がそれです。この歌ができた経緯を編集部が調べてみました。

当時は、お二人とも富山勤労者山岳会会員でした(その後、富山ハイキングクラブに移籍)。

「山は心のふるさと」を作った赤星さんは、70年代に富山富山県連理理事長や、全国連理理事もつとめ、当時



仲間たちの山小屋にて (2015年) 猪谷さん(左) 赤星さん(右)

歌つてもらった録音テープですが、そのなかで山と仲間をキングレコードに持ち込め、芹洋子の歌でレコードになりました。そして、赤星さんが大賀さんに紹介した登山祭典でも歌われ、徐々に全国に広がりました。

それを祭典で聞いて、「これだ」と思ったのが東京の大賀由普(おおが・よしひろ)さんです。現在は東京・三鷹駅前登山用品店・むさしの山荘を経営する大賀さんは、富山東京都連盟や全国連盟の救助隊で活躍していました。当時から登山用品店に勤めながら、1980年に、山の歌のレコード化やパンタナの作製などを企画していました。

赤星さんが東京に来たときに飲み屋にさそい、そこで

えて書けば、役目を果たせるのではないかと思い、取り掛かったのですが、字数制限でその辺は割愛するはめになりました。

私の『山と仲間』は、ある山行から街に戻り、いつもそうする様に夕食を兼ねて飲み屋に寄り帰寮し、ほろ酔いで隅に置いてあるギターを手にした時に大体が出来たのです。と言っても、その時にいきなり出来た訳ではなく、それなりの背景があった様です。その頃はシンカーソングライターが続出。私も拓郎が妬きでしょほくれてよく歌っていて、真似ごとで歌作りを試していました。一方で、当時愛読していた機関誌『山と仲間』と同名の歌を作れないかなと恐れ多いことも考えていた様で、その二つの思いが一緒になったことだったと思えます。

歌詞は文字通りそれまでの私の山体験と折々の山仲間を思い出しながらはめ込んだもので、十番まで作りました。レコードでは厳選された三つだけが採用され、光栄にも世に出た次第でした。今もこうして取り上げて戴き嬉しく思っています。

## 仲間との山行想いおこし 自然にできた詞と曲 「山と仲間」 猪谷守

1973年に富山登山に共にも功労会員という名が入り、その後富山ハイキングクラブの立ち上げに携わり、そちらに転籍して、十年間ほど

企画担当として、全国の先輩の赤星正明氏も当然同じ主旨で、歌『山は心のふるさと』について原稿依頼されたり、現在、体が不自由で書くのは無理と本人からも聞き、困りました。

実は、レコード化への話は、氏が大方お膳立てされた訳で、恐れ多いと感じました。でも、私とその辺も交

2015年8月、大分県久住高原で開かれた山の日発足1年前のプレ祭典で、大勢の観衆の前に「山は心のふるさと」を熱唱する芹洋子さん



2015年8月、大分県久住高原で開かれた山の日発足1年前のプレ祭典で、大勢の観衆の前に「山は心のふるさと」を熱唱する芹洋子さん

何故か赤星さんと

## 芹洋子が山の日を記念し 昨年出したCDアルバム タイトルにもなった



「山は心のふるさと」は、歌手の芹洋子さんが昨年、山の日を記念して発売した山の歌CDアルバムのタイトルにもなりました。ユーチューブにアップされた動画で、芹さんはこの歌をこ

「山は心のふるさと」という「故郷」という曲がありますが、あの山版と言っています。山の歌CDアルバムの日が制定され、その時に歌っていたかといふなど思いいます。私のアルバムで、芹さんはこの歌をこ

## 今野編集長に聞く 「登山時報」 ここがおすすめ



投稿コーナーです。皆さんの自信作をどんどんお寄せください。4月号から始まったのは、スマホを使った地図の活用(左下)。最近では、紙の地図ではなくスマホで山の地図が見られるので

す。自分が歩いたルートもバッチリ記録できます。全国各地にある山岳博物館、山岳図書館などを順に



「登山時報」は、全国から送られてくる各会の会報に掲載された記事をニュースソースとして作られています。登山の会員によってできあがった機関誌です。今年になって、いくつか

購読は月制で、送料は別。購読申し込みは、お申し込み先にお送りします。〒162-0814 東京都新宿区新小川町5番24号 日本勤労者山岳連盟 メール jwaf@jwaf.jp 記事の感想なども、ぜひ一言添えてください。